

読書活動だより.61

編集・発行 静岡県読書推進運動協議会

静岡市駿河区谷田53-1
静岡県立中央図書館内
TEL 054-262-1246



「心をつなぐ本」

静岡県読書推進運動協議会理事
岩城 偕子

表紙を開くと、両手で目隠しをした猫が現われる。柔らかなタッチで描かれ、ちょこんと座った姿がかわいい。「ぼくは、いないよ……」と、猫の声が聞こえてくるような錯覚を覚える。

「いない いない ばあ にゃあにゃが
ほらほら いない いない……」

と、母親。1歳になったばかりの子どもは、次の頁をめくるか、めくらないかの内に「ばあ！」と、声をあげる。市町が取り組んでいる「ブックスタート」でいただいた本を母親が読みかかせている。居間に差し込む温かな日差しの中で、親子の至福のひとつとき。

我が家にもこんな光景がしばしば見られます。本を介してコミュニケーションが生まれます。一冊の本は親と子の絆を確かなものにしていくのに一役も二役もかっています。

「ブックスタート」から始まり、子どもたちは、多くの大人の手を経て、自分自身の「読書人生」を形成していくこととなります。

ところで、この「読書人生」は、どのように成熟していくのが望ましいのでしょうか。

どこか行き着く先があるのでしょうか。

私は5年前から「静岡県図書館大会」で行われる分科会の一つである「読書会」に携わってきました。その中で、県内のあちらこちらでグループを作り、読書会活動を行っている多くの方々を知ることができました。グループの大きさも様々、活動も様々ですが、異口同音に言われるのは

「ひとりで読むより仲間で読む方が数段楽しい」
「自分からは手にしない本も読むことができる」
「自分の気づかなかった考えを聞くことができる」
「互いに成長できる場となっている」

という言葉。共に読むことによって、読書は広がり、また深まり、本を介して人が繋がっていくことが見えてきます。

読書会の活動は、外に働きかける活動とは異なり、仲間と成長し、心の交流を深めることができるものであり、目立ちはしませんが、こうした仲間作りは、読書を楽しむ、人と人との絆を深める場として、県内にもっと、もっと広がっていくことを期待しています。

〈内容紹介（もくじ）〉

◎巻頭言（「心をつなぐ本」岩城偕子氏）…………… 1	おはなしハッピータイム…………… 3
◎静岡県図書館大会・読書会分科会報告…………… 2	読み聞かせグループこすもすの会…………… 3
◎平成22年度 優良読書グループ紹介	すいせんの里読書会／吉田読書クラブ…………… 3
★(社)読書推進運動協議会長賞(全国表彰)	◎国民読書年記念フォーラム報告…………… 4
おはなしクック…………… 2	◎静岡県子ども読書フェスティバル報告…………… 4
★静岡県読書推進運動協議会長賞(県表彰)	◎推薦図書…………… 4
須津おとぎのへや／富士宮市市民読書サポーター …… 3	

静岡県図書館大会・読書会分科会報告

魅力的な読書会

～もっと「本と遊ぶ」・「本と暮らす」～（図書館大会読書会分科会より）



平成22年10月18日（月）、静岡県コンベンションアーツセンター“グランシップ”において恒例の静岡県図書館大会が開催されました。第5分科会は「魅力的な読書会」をテーマに、読書グループ「和の会」の皆様と、静岡県書店商業組合副理事長（現在は理事長）をされている江崎直利氏を講師にお招きし、会をもちました。今回は募集定員を超える72名の参加をいただくことができ、また、参加した皆さんからは、もう少し時間が欲しかったという声も聞かれるほど関心をもっていただきました。アンケートの結果も好評でした。

「和の会」は「母と子読書会」を卒業したメンバーが母親だけの会として立ち上げたグループで、現在、11名の会員で活動しています。司会、記録、課題図書を選定を当番制で行い、話し合い後は必ず当番によるまとめをすることや、読書会の進め方の工夫を発表していただきました。また、現在も子ども対象の読書活動も精力的に行っているということで、手作り絵本の読み聞かせの実演もあり、会場は温かい雰囲気になりました。

講演では江崎直利氏に、～もっと「本と遊ぶ」・「本と暮らす」～をテーマにお話をいただきました。江崎氏が岐路に立たされた時の一冊の本との出会いや、「本屋は『なぜ』に答えるのが仕事」と確信したというアメリカの同時多発テロの時の体験談、また、電子書籍と書店の変化等今日的な問題まで、多岐にわたり、書店の立場からお話いただきました。更に、映画「ジェイン・オースティンの読書会」や「好きな本のプレゼン読書会」など、固定観念にとらわれない様々なスタイルの読書会の提案もしていただきました。

質疑応答や意見交換も活発に行われ、今後の読書会の新たな動きに期待が高まる分科会となりました。

平成22年度 優良読書グループ紹介

（社）読書推進運動協議会長表彰（全国表彰）

【おはなしクック（清水町）】

昭和63年図書館の読み聞かせ講座を修了した3名が、図書館でおはなし会「おはなしのいずみ」を開始したことにより発足しました。かつての会場に入りきれない程の来場者から比べると現在は人数が減ってしまいましたが、「おはなしのいずみ」は会の原点として大事に守り続けたいと思います。他に乳幼児向けに「おはなしの玉手箱」も行っており、子育ての中で絵本が喜びや楽しさの一端となってくだされば、こんなに嬉しいことはありません。

平成18年に図書館の20周年事業として発行されたブックリスト「おはなしの花かご」は、選本・編集・装丁など全編を「おはなしクック」のメンバーが担当させて頂きました。また、乳幼児の保護者に読んで頂きたいと、絵本の紹介を中心とした情報紙「玉手箱だより」を月1回、図書館と協力して発行しています。これらを、おはなし会の参加者やブックスタートの絵本と一緒に配布しています。

図書館以外でのおはなし会は、町立幼稚園4園と保育所3所、私立保育園1園、町立中学校2校、県立東部特別支援学校中等部・小学部の各所に年間予定を立てて頂き、各クラス毎に月1回程度実施しています。不定期では近隣市町の幼・保・小・中学校や県の児童一時保護所などへも伺っています。これら次月の日程の担当者調整を図書館にて毎月第4火曜日の勉強会で、情報交換・絵本の紹介・読み聞かせの勉強と共に行っています。

（代表 久保田澄子）

静岡県読書推進運動協議会長表彰（県表彰）

【須津おとぎのへや（富士市）】

「おとぎのへや」は、会発足20年目になります。我が子の卒業と同時に小学校の「絵本の会」から離れたお母さん達が、さらに地域においても本と子供達に関わってほしいという熱い気持ちから誕生した会です。

会員一人ひとりのやさしさと情熱があったから、また、子供達からいっぱい勇気をもたらしてきたから、ここまで地道にやってこられたのだと思います。

毎月第2土曜日のおはなし会には、読み聞かせ、ストーリーテリング、工作、大型絵本、紙芝居等、いろいろなプログラムを考え、四季折々の行事も大切にしながら楽しんで



ています。本を楽しみ、読書をするきっかけになってくれることを期待しながら、活動していきたいと思えます。（代表 米田 容子）

【おはなしハッピータイム（静岡市）】

「おはなしハッピータイム」は読み聞かせの重要性を感じた子育て世代のメンバーが集まり発足。平成14年からオーク長田図書館で月1回、おはなしの会を行ってきました。

読み聞かせ講座などに参加し絵本の選定の仕方、読み聞かせに対する姿勢を学び合い、絵本・紙しばい・折り紙や手遊びといった親子が楽しめるような趣向を凝らしてきました。毎回、緊張しながらも子どもの真剣な表情にやりがい、皆、感じています。



現在メンバー12名。発足時とは一新しましたが、先輩方の、子どもの豊かな心と人間性を大きくはぐくんでいきたいとの想いを受け継ぎ、これからも読み聞かせを通して本のすばらしさを広く伝えてまいります。（代表 望月希有子）

【すいせんの里読書会（浜松市）】

私達「すいせんの里読書会」は、平成22年度「優良読書グループ」の一つとして、去る10月18日「静岡県読書推進運動協議会長賞」を受賞致しました。

思いがけなくもこのような栄えある賞を頂き、会員一同とても驚き、大変嬉しく思っております。

「すいせんの里読書会」は昭和57年に初足し、平成22年10月までに330回の読書会を重ねてまいりました。

この28年間、好きな本・苦手な本など様々な本との巡り合いは実に楽しく、色々な分野の目を開かせてくれました。



今回の受賞を励みに「たとえ1ページでも」と「継続は力」を合言葉に地道に読書生活を続けていきたいと考えております。

（代表 小杉 雅子）

【富士宮市市民読書サポーター（富士宮市）】

平成13年4月に、富士宮市教育委員会生涯学習課が、豊かな心を育む環境づくりとして市民協働による「読書と読み聞かせ推進事業」を立ち上げました。その事業の実現のために誕生したグループが富士宮市市民読書サポーターです。子どもたちが、長く読み継がれた良い本を楽しみながら育ててくれることを願って、広く市民に向けて活動しています。乳幼児には「絵本とわらべ歌の会」や保健センターでの絵本の紹介、小中学生には学校を訪問して「語りとブックトーク」、また大人には、理解を広めるための講座やセミナー、講演会などを開催しています。平成16年度には子どもの本のリスト「おもしろい本みつけた」を作成し、知識



や読解力のためでない、豊かな物語体験としての読書を子どもたちにすすめています。（代表 大塚 清美）

【読み聞かせグループ こすもすの会（掛川市）】

平成4年に当会を発足し、浜松市在住の池ヶ谷桂子先生を講師にお迎えしての月2回の勉強会に加え、地域の幼稚園・保育園・特別養護老人ホームなどの施設をはじめ、各自治体の集まりや子育て支援センター等に「読み聞かせ慰問」をさせていただいております。

紙芝居や絵本、手遊びをはじめ、昔話をモチーフにした会員手作りの人形劇や朗読劇にも挑戦し、緊張しながらも楽しい時間を共有しています。

明るく前向きな人柄の先生の勉強会はいつも笑い声が絶えず、3人からスタートした当会も十数名に増えています。



「継続は力なり」の如く、これからも会員同士気負わず、無理せず、健康で続けられたらと願っております。（代表 藤田みづほ）

【吉田読書クラブ（吉田町）】

「こんな立派な図書館が出来たんだから、閲覧・借り出しだけでなく、読んだ本について話し合う会もぜひ作りたい」といった要望を基に、当時の増田館長の懇切な助言もあって2005年1月、ようやく「吉田読書クラブ」結成にこぎつけることが出来ました。

特に改まった規約はありませんが、趣旨は「誰でも気軽に参加し、楽しく話し合おう」ということで、毎日第4日曜日の午後、図書館ワークルームで開催しています。

会員は12名で、今年1月で68回になります。会費は年500円、テキストは会員の推薦で決めています。また、次回の予告と感想の簡単なまとめを毎月発行して親睦を図っています。



（代表 横田 博）

国民読書年フォーラム2010! しずおか報告

昨年11月27日(土)、県立大学大講堂にて、「国民読書年記念フォーラム2010!しずおか」が530人の参加者を得て盛大に開催されました。このイベントは、国民読書年を契機に読書活動の一層の推進を図るため、県図書館協会、県立大学、県舞台芸術センター(SPAC)との共催で行ったものです。

講演会には、作家の重松清さんをお招きしました。重松さんは、いじめをテーマとしてご自身の著作について「違いを排除しようとするのが、いじめ。お互いの違いを認め合える社会を作りたい。」と熱く語りかけ、また、文学の魅力について「時が経つほど価値が高まるのが文学の特徴で、図書館はその宝庫である。」とお話してくださいました。講演会のほかにも、「SHIZUOKA COLLEGE BOOK AWARD」選考委員の大学生と「天竜文学賞」選考委員の高校生が各選考作品を紹介し、県教育長を交えて意見交換を行った「ふじのくにブックレビュー」、読書に係るキャッチフレーズ(応募553点)・イラスト(応募95点)の表彰、SPACによる即興劇など盛り沢山の内容で、参加者の皆さんは、熱心に聴き入っていました。



静岡県子ども読書 フェスティバル報告

平成22年8月28日(土)、静岡市立日本平動物園と、隣接する旧エンバーソン邸の2会場で、「静岡県読書フェスティバル・2010」を開催しました。

旧エンバーソン邸は、静岡市内に現存する数少ない明治時代の西洋建築物であり、静岡市の指定有形文化財です。質素なかにも歴史を感じさせる建物での読み聞かせは、ゆったりとおはなしの世界にひたることができました。

また、静岡市立日本平動物園では、園のご協力をいただき、動物ふれあい館で読み聞かせや腹話術を催しました。動物や昆虫に関するテーマの本を取り上げ、実際に目にする動物たちと、絵本や物語本などに描かれている動植物とを結び合わせ、より一層の体験と感動を得ることができたと思います。

会場では、生きたへびに触れるコーナーもあり、にぎやかな会場でしたが、お話が始まると、多くの子どもが集まり、お話の世界に集中する子どもの姿に、改めて本持つ力を実感した一日でした。



静岡県読書推進運動協議会推薦図書

☆☆☆シニア世代向け☆☆☆

- 【高く手を振る日】 黒井千次／著 (新潮社 2010.3)
- 【自分の始末】 曾野綾子／著 (扶桑社 2010.2)
- 【名文どろぼう】 竹内政明／著 (文藝春秋 2010.3)
- 【種蒔きもせず】 星野富弘／著 (偕成社 2010.5)
- 【日野原重明の「こころ」と「からだ」の相談室】 日野原重明／著 (日本放送出版協会 2010.1)
- 【小暮写真館】 宮部みゆき／著 (講談社 2010.5)

☆☆☆ヤング世代向け☆☆☆

- 【おおきな木】 シェル・シルヴァスタイン／著 村上春樹／翻訳 (あすなろ書房 2010.9)
- 【野川】 長野まゆみ／著 (河出書房新社 2010.7)
- 【もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら】 岩崎夏海／著 (ダイヤモンド社 2009.12)
- 【ブッククラブで楽しく学ぶ クリティカル・リーディング入門】 有元秀文／著 (ナカニシヤ出版 2010.6)
- 【母—オモニー—】 姜尚中／著 (集英社 2010.6)